

議会です、 こんにちは

主な内容

- こんなことが決まりました
- 市政のここが聞きたい
- 平成16年度 政務調査費の使途報告
- 委員会活動
- 傍聴席
- 林活議連からの報告
- 消防議会からの報告
- 編集後記

こんなことが決まりました

第2回定例会(6月7日から6月22日)で可決された議案(4件)、報告(5件)、諮問(1件)、推薦(1件)意見等案(9件)の主なものは次のとおりです。

議案	推薦	意見書	報告	諮問
平成17年度留萌市一般会計補正予算(第1号) 留萌市ホームヘルパー派遣手数料条例の一部を改正する条例制定について 新たに生じた土地の確認について 町の区域の変更について	留萌市農業委員会委員の推薦について	地方6団体改革の早期実現に関する意見書 地方議会制度の充実強化に関する意見書 道路整備に関する意見書 2006年医療制度改革に関する意見書 米国産牛肉の拙速な輸入再開に反対し、BSEの万全な対策を求める意見書 北海道における「市町村合併推進に関する構想」策定等に関する意見書 北海道の最低賃金に関する意見書 公共工事における賃金等確保法(公契約法)の制定を求める意見書 住民基本台帳の閲覧制度の早期見直しを求める意見書	留萌市土地開発公社の平成16年決算に関する書類の提出について 留萌港開発株式会社の平成16年度決算に関する書類及び平成17年度事業計画に関する書類の提出について 平成16年度留萌市繰越明許費繰越計算書について 専決処分の報告について(損害賠償について) 専決処分の報告について(平成16年度留萌市一般会計補正予算について)	○人権擁護委員の推薦について

市政のここが聞きたい

一般質問

村山ゆかり議員

一、指定管理者制度の見直しが進む中、指定管理者制度導入が注目される。指定管理者選定の際の不公平が生まれない審査基準のあり方はどうか。また、応募者の意欲を高めるためにも指定管理者制度についての市民向け説明会の開催を検討願いたい。

二、職員的能力開発と組織の体質改善、協働推進マニュアル作成について

村山議員への答弁

一、公の各種施設の見直しが進む中、指定管理者制度導入が注目される。指定管理者選定の際の不公平が生まれない審査基準のあり方はどうか。また、応募者の意欲を高めるためにも指定管理者制度についての市民向け説明会の開催を検討願いたい。

二、職員的能力開発のための研修会の開催や民間企業との人事交流で異業種人材の登用を進め、組織の体質改善を検討願いたい。また、行政と市民との協働事業について理解を深めるための市民向け「協働マニュアル」冊子を作成願いたい。

野崎良夫議員

一、健康都市宣言の実施について

二、来春二月に向けての市長の進退について



健康都市宣言は、いつ

野崎議員への答弁

一、健康都市宣言は今までも再三質問を受けてきたが今年中に宣言を行いたい。

二、残りの期間について議員が指摘することには、十分拳

一、指定管理者選定審査基準を統一することは各施設の業務内容によって違いがありケースになるので出来ない。説明会などで行政の考え方を市民や団体に理解してもらう努力を今後もしていく。

二、職員研修で伸ばせる能力とそうでないものがある。市民との橋渡し役として職員の能力が重要であり、内部的な努力を進めていく。市民にも協力していただきたい。人事交流は過去に接客業に十四名派遣した経緯があるが、現在定数を削減した中で余裕がない。また派遣先での問題もあるが、機会があればしていきたい。市民との協働マニュアルは現在作成中である。



今年度から指定管理者制度を導入した、こさえーる

江沢順次議員

一、第五次留萌市総合計画策定にあたって

二、行財政改革について

一、第四次総合計画の総括に

一、第四次課題の社会基盤整備はほぼ達成したが、経済状況が悪化し実施が遅れたものもある。第四次計画の検証をしながら第五次計画策定を行う。想定人口は今後も議論する。第一次産業の評価は今後大きく変化すると思う。観光行政は方向性決定時に関係団体と協議する。福祉行政は高齢者も活躍するシステムを構築したい。教育行政は社会教育団体と新たな関係確立をしたい。

二、財政再建推進委員会はいろいろな状況を議論してもらったため設置した。都市基盤整備が集中し、歳入が減少した事が赤字要因と思う。事務事業評価と改革は今後も見直し

天谷孝行議員

一、留萌港の利用促進計画と具体策について

二、財政再建計画と各種見直しについて



市役所内の意識改革が必要

職員労働意欲を維持しながら給与体系や人事評価システム基準や分限処分など今後とも検討する。

一、港の安全性は常に配慮し考えていく。また、貨物などさまざまな輸送形態に対応する港の整備をしていき、サハリンなども視野にいれた経済交流のため港後利用促進を進めたい。高規格道路は港の活用とリンクさせるものと考えている。

二、地方公務員の特例手当の適正化ということで、以前あった三十四種類の見直しをした。今残っている二十五種類も本来業務と重なる部分がないかなど検討していく。「退職時特別昇給」は廃止している。ゴミ収集体制の見直しを図っていきたいと、関連企業なども協議していく。市民負担ありきではなくコスト削減に十分配慮していく。



留萌港の利用計画は

平成16年度

政務調査費の使途報告

平成16年度、政務調査費の使途を下記のように報告いたします。

なお、研修・視察内容を記した報告書、並びにそれらに費やした経費の内訳や領収書などの書類は議会事務局に保管されておりますので所定の手続きにより閲覧することができます。

萌政会（7名） 原田昌男・中村才蔵・樋口隆・珍田亮子・近藤明美・江沢順次・梅沢文敏（H16.11死去）

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	840,000	政務調査費交付金	研修・会議費	105,260	研修
負担金	0		図書・資料費	63,507	
雑収入	6	預金利息	調査・広報費	0	
繰越金	0		事務費	2,660	
計	840,006		計	171,427	

(収入額)-(支出額)=差引残額
840,006円 - 171,427円 = 668,579円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
840,000円 - 171,427円 = 668,573円 (市に返還)

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修会議費	105,260	1名	H17.1.19~22	沖縄県石垣市(石垣市民会館外)	・全日本青少年アドバイザー連合会研究会及び沖縄県青少年育成者研修会参加

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	63,507	・誰にも分かる社会生活六法「法律相談Q&A」 ・ " 法律相談追録 ・高齢者生活介護の手引き ・ " 手引き追録 ・環境自治体ISO14001をめざして外19冊

萌芽クラブ（4名） 石塚正寛・道重幸・村山ゆかり・松本衆司

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	480,000	政務調査費交付金	研修・会議費	32,460	
負担金	68,537	会派負担金	図書・資料費	0	
雑収入	3	預金利息	調査・広報費	375,140	行政視察旅費
繰越金	0		事務費	0	
計	548,540		計	407,600	

(収入額)-(支出額)=差引残額
548,540円 - 407,600円 = 140,940円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
480,000円 - 339,060円 = 140,940円 (市に返還)

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修会議費	32,460	3名	H16.11.24	札幌市	・フォーラム「地域主権の日本をつくる。」講師・北川正恭氏(前三重県知事)
調査広報費	66,600	1名	H16.12.20~21	東京都新宿区 埼玉県蓮田市	・安全安心条例制定 ・協働の情報広場 ・歌舞伎町ルネッサンス ・市民の声を聞く課の設置、公聴体制 ・ファミリーサポートセンターについて
	240,000	4名	H17.2.16~19	松戸市 「生活介護サービス(株)」 伊勢崎市 東京都新宿区	・複合型高齢者マンション及び診療所併設型の医療・介護施設 ・新人事、人材育成方針、伊勢崎21市民会議 ・協働推進に関する政策

市民連合
菅原千鶴子議員

一、公共施設の現状分析や、受益者負担見直しに関するアンケート実施について検討委員会の考えは、有料公園施設の利用制限を今後も継続するのかが、新団体ほど活動の継続に苦勞している。既成の団体が使用料の減額を受けているが、新規参入団体に対して一定期間助成してはどうか。指定管理対象施設について財政面を意識しすぎ、安上がりな管理だけが浮き彫りにされているが市長の理念を聞かせてほしい。

二、余裕教室が積極的な活用と思えないが実践した他市町では不審者の侵入予防効果やいじめ解消、異世代交流による子供たちの人格形成に大いに役立つと聞いています。地域連携の核として活用してはどうか。



公園施設の一般開放は

◆菅原議員への答弁

一、市民に貸し出ししている三十前後の施設の維持管理費が年間三億円、利用料収入は一割もなく、利用率は二割三割である。合理的な整理が必要だ。公共施設の適正配置、再編のためアンケートも考えている。公園施設については一般開放に向けて関係者と話し合い、維持管理体制を協働で考えたい。新規団体の育成等については市民サポートグループが対応、相談にのる。指定管理者については、対象施設について明確なものはない。誰がやれば最も効果的・能率的に出来るかを考えたい。今後説明会も開催する。

二、学校を閉ざして守るのではなく、開いて守っていたらどうと不審者対策にもなる。高齢者、児童福祉部門での活用も視野に入りたい。



財政再建推進委員会(民間の視点で活発な議論を)

◆石塚議員への答弁

一、市中銀行から資金調達し

◆市民連合のトピック

工藤 葵議員

一、三位一体改革については、小学校の統廃合について

一、三位一体改革は、地方分権一括法施行により国と地方の事業・税財政を見直し、地方分権を進めるといふ大改革の実現に大きな期待が寄せられました。骨太方針の全体像については市長の立場から見解をお伺いしたい。税源移譲に、地方団体の要望は反映され、さらに地方の裁量権が確保されているか。市の今後の財源確保の展望はどうか。

一、二年後に累積赤字が十五億円を超えることは必至。財政再建計画にある公債費の平準化とは具体的にどのようなことか。平準化は住民のためになる施策か。職員給与や勤労手当はどのような視点で見直すのか。補助金交付規則などを一元管理し市民に公表すべきではないか。市税の収納率の向上に向けた取り組みは、二、産業雇用・税収対策として、地元の仕事は地元でこなし、地元のお金は地元で循環させる」という市長の強いメッセージを市民に発し、それを具体化させるため行政側と地元事業者との意見交換の場を設定してはどうか。



三泊小学校の今後の対応は

◆工藤議員への答弁

一、三位一体改革とは国庫補助金、地方交付税を減らし、代わりに税源を移譲するものである。大都市と中小零細自治体では税収に格差がありすぎ、自治体側の意見もかなり分かれている。裁量権も地方に移すように国との話し合いを続けていく必要がある。財源については港湾利用のプロジェクトの推進、バイオマスタウンの認定を推進、産業政策に結び付けたい。

二、三泊小は来年から一学級増え四学級になる。適正配置検討委員会の報告の趣旨を尊重し、教育委員会の考えをまとめ定期的な懇談を進めたい。礼受小については公共施設のカルテにより判断したい。

二、三泊小学校の廃校問題は廃校提言諮問後、一年間地元との話し合いがされず、継続協議となつていますが、今後どう対応されるのか。礼受小学校廃校後の校舎の処置はどうされるのか。

市民連合（3名）野崎良夫・菅原千鶴子・坂本守正

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	360,000	政務調査費交付金	研修・会議費	6,000	
負担金	0	会派負担金	図書・資料費	74,664	
雑収入	273		調査・広報費	264,609	行政視察旅費
繰越金	0		事務費	15,000	
計	360,273		計	360,273	

(収入額)-(支出額)=差引残額
360,273円 - 360,273円 = 0円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
360,000円 - 360,273円 = 273円

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修会議費	6,000	3名	H16.5.19	札幌市	・地方財政シンポジウム
調査広報費	195,205	3名	H16.10.12 ~14	石川県松任市 かほく市 羽咋市	・CCZ計画の完成後の現状と課題について ・市町村合併について ・まちづくり基本条例について
	69,404	3名	H16.2.17~18	室蘭市 苫小牧市	・定住促進の取組みについて ・防災計画について

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	74,664	法令集 知っておきたい地方財政のお話 人づくりの哲学 個人情報保護 LD/A/D/H/D病気なのか 2020年農業が輝く 病院のしくみ 労働法・実務辞典 地方分権と自治体法務 市民のための教育 新選国語辞典 法令集その他

沢出 隆（無会派）

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	120,000	政務調査費交付金	研修・会議費	0	
負担金	2,604	自己負担金	図書・資料費	74,184	
雑収入	0	預金利息	調査・広報費	48,420	行政視察旅費
繰越金	0		事務費	0	
計	122,604		計	122,604	

(収入額)-(支出額)=差引残額
122,604円 - 122,604円 = 0円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
120,000円 - 122,604円 = 2,604円

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査広報費	48,420	1名	H16.7.27~28	室蘭市 札幌市清田区	・室蘭港(フェリー埠頭公社) ・移送サービスについて ・清田社会福祉協議会

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	74,184	・密集市街地のまちづくり ・まちづくりの哲学 ・合併自治体の教育デザイン ・自治体と計画行政 ・中心市街地再生と持続可能なまちづくり ・地方は変わるか ・実践自治体の危機 ・協働でまちをつくるのだ ・転換期の自治体計画づくり ・住民、コミュニティとの協働ほか

原田 丈三（無会派）

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	120,000	政務調査費交付金	研修・会議費	0	
負担金	0	会派負担金	図書・資料費	0	
雑収入	0	預金利息	調査・広報費	0	行政視察旅費
繰越金	0		事務費	0	
計	120,000		計	0	

(収入額)-(支出額)=差引残額
120,000円 - 0円 = 120,000円(市に返還)

市民・民主ネットワーク（2名）高橋信郎・工藤 葵

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	240,000	政務調査費交付金	研修・会議費	8,750	
負担金	24,050	会派負担金	図書・資料費	23,076	
雑収入	0	預金利息	調査・広報費	226,975	行政視察旅費
繰越金	1		事務費	5,250	
計	264,051		計	264,051	

(収入額)-(支出額)=差引残額
264,051円 - 264,051円 = 0円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
240,000円 - 256,402円 = 16,402円

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
研修会議費	8,750	1名	H16.7.26	旭川市 旭川パレスホテル	・時局講演会 主催：道新旭川政経懇話会
調査広報費	60,000	1名	H16.7.28~30	岩手県矢中町 岩手県平泉町	・水道メーター検針票の企業広告について ・平泉郷土資料館視察
	60,000	1名	H16.11.8~30	東京都巣鴨 東京都品川区	・巣鴨地蔵通り商店街（おばあちゃん原宿） ・さくらハイツ五反田(社会福祉法人さくら会)
	58,082	1名	H17.3.24~26	奈井江町 北広島市 札幌市	・広域連合の国保、介護事業、障害者の授産事業について
	41,244	1名	H17.3.29~31	留萌管内9市町村	・広域圏組合事業概要 ・商工観光労政事業等

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	23,076	・生活経済研究誌 ・地方自治研究誌 ・生活保護関係誌 ・すぐわかるニュース地図 (介護、時事用語、業界地図)etc

留萌公明党（2名）天谷孝行・村上 均

収入			支出		
科目	金額(円)	摘要	科目	金額(円)	摘要
交付金	240,000	政務調査費交付金	研修・会議費	0	
負担金	0	会派負担金	図書・資料費	97,536	
雑収入	0	預金利息	調査・広報費	117,473	行政視察旅費
繰越金	0		事務費	0	
計	240,000		計	215,009	

(収入額)-(支出額)=差引残額
240,000円 - 215,009円 = 24,991円

(補助金)-(対象経費)=プラスの場合返還
240,000円 - 215,009円 = 24,991円(市に返還)

研修・視察調査費内訳 ()は対象経費

科目	経費(円)	参加者数	日程	視察地	調査事項
調査広報費	34,645	2名	H16.5.1~2	函館市	・函館駅前都地区画整理事業について
	82,828	2名	H17.2.15~17	東川町 白老町 大滝村	・幼保一元化について ・有機堆肥づくりについて ・新システムで環境にやさしいまちづくり

図書・資料費内訳

科目	経費(円)	説明
図書・資料費	97,536	・新日本法規 ... 法令集 ・集英社 ... イミダス ・第一法規 ... 議員発言事例集など

委員会活動

総務文教常任委員会
民生常任委員会
産業・建設常任委員会

◆総務文教常任委員会

〔四月七日開催〕

(企画財政部)
留萌市財政再建推進本部の設置について
常口市訪問について
(教育委員会)
沖見小学校盗難事件の概要について
史跡旧佐賀家漁場の管理団体の指定について

〔五月三十一日〕

(総務部)
自主防災組織町内会担当者会議について
留萌市職員研修計画について
目標管理制度の改善について
平成十六年度の市税・税外等収納状況について
(企画財政部)

留萌市公共未利用地活用検討結果について
留萌市第五次総合計画、留萌市自治基本条例と都市経営システムの策定について
(教育委員会)
留萌市教育委員会ホームページの開設について
留萌市立学校図書館ポラントピアについて
平成十六年度学校評議員会の開催状況について
阿部貞夫の版画展「版にこめた留萌」について
留萌十字街西ビルでの停電による影響について
平成十七年度史跡旧佐賀家漁場災害復旧事業について
青少年関係団体等連絡会議について

◆民生常任委員会

〔三月八日開催〕

(生活福祉部)
るもい次世代育成支援行動計画について
〔五月三十一日開催〕
(市立病院)
医事業務委託会社職員による事故概要について
平成十六年度、患者数と決

算の概要について
平成十七年度、診療体制について
(生活福祉部)
留萌市環境に関するアンケート集計結果について
平成十六年美サイクル館稼働実績について
バイオマスタウン構想について
留萌市ホームヘルパー派遣手数料条例等の一部改正について
児童扶養手当国庫負担金の返還について
「市民サポートグループ社会福祉・児童家庭・げんきいきがいの各課からの事業報告

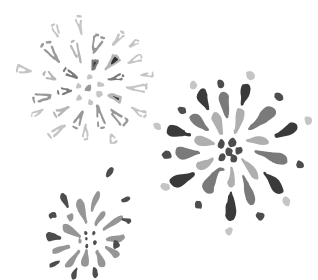
◆産業・建設常任委員会

〔四月二十日開催〕

(都市環境部)
経済交流部の農林水産課より、市有林整備事業実施状況についてと、東海大学共同調査試験研究事業についての説明があった。
経済振興グループより、平成十六年度都市再生モデル事業調査と概要報告書についての説明があった。
港湾課より、ソーラス条約に伴う埠頭保安施設整備につ

いて報告があった。
都市環境部の都市整備課より、除排雪作業における物損及び人身事故について報告があった。
建築指導課より、住宅使用料収納対策の経過報告及び平成十六年度の不納欠損処分について報告があった。
〔四月二十日開催〕

経済交流部の農林水産課より農業委員会委員の選任について、港湾課より、留萌港開発(株)の平成十六年度決算書類と十七年度事業計画、それぞれ六月議会での予定議案について説明があった。
都市環境部の都市整備課より神居岩パークゴルフ場指定管理者の公募について報告があった。
上下水道運営委員会(第二回)の開催結果について説明があった。



こんな活動もしています - その他の議会活動 -

留萌消防組合議会報告

【ドクターヘリシミュレーション訓練】

去る6月28日、留萌消防組合消防署、北海道ドクターヘリ運行調整委員会参加によるドクターヘリシミュレーション訓練が実施されました。ドクターヘリとは、救急医療用の医療機器などを装備したヘリコプターであって、救急医療の専門医及び看護師が同乗し救急現場などに向かい、現場などから医療機関に搬送するまでの間、患者に救命医療を行うことが出来る病院常駐型専門ヘリコプターのことを言います。本年の4月1日より正式に運航が開始され、現在、37消防本部56市町村が運行調整委員会と協定を締結しています。今回の目的は運行事業実施に伴い、各関係機関並びに職員の連携を密にし、また、安全円滑な運行実現のため訓練を行い、問題点等について検討し今後の活動に反映させるために行われました。想定として、峠下駐車帯付近で交通事故が発生、ドクターヘリに要請し、幌糠小中学校グラウンドをドッキング場所として使用しての訓練でした。ヘリの基地病院は「札幌市手稲区仁会病院」で今回は出動要請から25分で幌糠の現場に到着し、処置を施すことが出来ました。救急患者には、短時間のうちに適切な処置が開始されなければ命にかかわるという場合が少なくありません。適切な救急医療を提供するための手段として、ドクターヘリの有効性を実感できました。



注) 消防組合議会とは広域行政組合議会と小平町と留萌市が、一つの議会をつくっています。小平町から3名、留萌市から7名計十名の議員で構成されている議会です。

留萌森林林業林産業活性化促進委員会 (留萌林活)

議員相互の森林林業林産業の活性化に向けた政策勉強や実態認識のための森林視察(市有林)植樹祭(国、道、市)など、緑や山の自然環境をしっかりと守り育成するため、議員の活動を更に強め、あらゆる機会を通して交流、親睦を深める活動を進めております。
今年度の活動の一端を紹介します。
5月22日、市民植樹祭に参加
6月8日、道議連主催の「北の森づくりを進めるための道民の集い」に参加



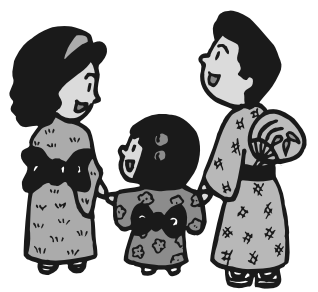
7月1日、市内の市有林の状況と今後の整備計画を視察
<2カ所視察>



編集後記

先日、「FMもえる」を聞いていたら、留萌市の昭和39年度の財政問題に触れていた。その内容は、この年は単年度・収支決算で約1千万円の黒字が出たと言う話でした。
ご存知のように留萌市は、過去、昭和30年頃から8年間赤字再建団体に転落した苦い経験をしている。さて、今、6月定例会も3月に引き続き、留萌市の財政再建に向けた議論が目立った。赤字再建団体に転落しない方策としての公債費の平準化案が出されている。しかし、この方策では新たに約5億2千万円(7月時点の推計)の借金が加算され負担増となる。
本当に先の見通しが確かなものであれば苦薬も丈夫な身体回復の起爆剤となるがやはり、後年度に対する不安は隠せない。はたして公債費の平準化は再建団体回避策として推進すべきなのか議会人として、一人、一人真剣に考えなければと思います。(珍田 記)

議会広報特別委員会
委員長 石塚正寛
副委員長 村上均子
委員 珍田亮子
委員 江沢順次
委員 菅原千鶴子
委員 松本 衆司



傍聴席

留萌市沖見町 男性 (四十四才)
久々に市議会を限られた時間ではありましたが傍聴しました。
傍聴者は三名で、ロビーでも数名の方が中継テレビに見入っていました。
市町村合併議論の際も、財政の厳しさは十分に受け止めていたが、市政すべてに関わる財政の厳しさを、今回改めて感じさせられました。
赤字財政を受け、今後、議員定数の議論も想定されますが、それだけに一人一人の議員の責務は議会内外を含め増すこととなります。
市民の声を受け、一般質問で何を問うのか、今後も注視していきたいと思えます。